



エリア	プロジェクト	取組	実施計画	実施内容	評価	今後の予定	実施計画	実施内容	評価	今後の予定	備考
小野路エリア	1 竹林の再生と活用	—	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山で活動している既存の団体と新たな取り組みについて協議し、新たに未活用の市有山林約17,000㎡の再生と活用を進めました。(重点事業1「山林や竹林の再生・整備」の再掲)</li> <li>・地域の団体と協働し、幼竹を活用したメンマづくりのワークショップ、市職員を対象としたメンマづくり体験会を実施しました。</li> <li>・商工会議所や市内事業者と連携し、幼竹を活用したメンマづくりを試行し、市内産メンマの事業化に向けた意見交換を行いました。(重点事業1「多様な主体の連携による里山の活用」の再掲)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の継続に向けて必要な支援を行います。</li> <li>・メンマづくりをはじめとする里山資源の活用について、事業者との意見交換により判明した課題の解決に向け、引き続き関連事業者との意見交換を実施するなど情報収集に努めます。</li> </ul>	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小野路エリアで活動する複数の市民団体において、竹林の再生や発生材の活用を図りました。</li> <li>・学校法人玉川学園と連携し、放置竹林に関する課題を周知し、課題の解決を図ることを目的としたイルミネーション企画「竹あかりが息づく気づきの丘」を実施しました。(重点事業1「多様な主体との連携による里山環境の再生」の再掲)</li> <li>・小野路エリアで活動する市民団体が加工した市内産メンマを、市職員を対象に販売しました。あわせて、購入者に対しメンマおよび竹の活用に関するアンケート調査を実施しました。(重点事業1「多様な主体との連携・協働による里山資源の活用」の再掲)</li> <li>・「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用し、協議会に参加する都府県自治体の住民を対象とした現場体験事業の実施に向け、小野路エリアの市民団体と協議しました。(重点事業1「多様な主体との連携・協働による里山資源の活用」の再掲)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体が実施する事業の継続に向け、必要な支援を行います。</li> <li>・本企画をスタートアップに、同法人と連携して放置竹林の課題解決に取り組めます。</li> <li>・メンマ販売でのアンケート調査を参考に、里山資源の活用について、情報収集や調査研究を行うとともに、情報の発信など普及・啓発に取り組みます。</li> <li>・2025年度に市民団体と協働して「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用した現場体験事業を実施します。</li> </ul>	
	2 地域の課題解決につながる取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 散策ルートを再整備します</li> <li>② (仮称) 里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施します</li> </ul>	内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 散策ルートの再整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体において散策ルートを整備し、散策者が安全に通行できる急斜面地への階段設置や支障となる竹木の除去を行いました。</li> <li>・里山を散策する人が安全に散策できるよう奈良ばい谷戸周辺において、ナラ枯れに対する樹木の伐採を行いました。</li> </ul> </li> <li>② 里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フットパスツアー」+「お掃除大作戦」と称し、町内会や地域の公共施設管理者と協働し、里山の清掃活動を実施しました。(重点事業2「地域・団体等と連携した取組」の再掲)</li> </ul> </li> <li>③ 環境の保全につながる事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「奈良ばい谷戸」において、田植えや稲刈り体験、さつま芋掘りやタケノコ掘りなどの体験イベントや里山の散策イベントを実施し、里山環境の再生や保全について学ぶ機会を提供しました。</li> </ul> </li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容・手法を検討し、地域で調整を図ったのち、適宜試験的に実施し、検証・評価を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 散策ルートの再整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野路エリアの奈良ばい谷戸において、散策者の安全を目的に散策路沿いの枯損木を伐採しました。</li> </ul> </li> <li>② 里山クリーンアップキャンペーンを企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に「小野路フットパスツアー＆お掃除大作戦」と称し、町内会と協働し、里山散策と清掃活動を実施しました。(重点事業2「地域・団体等と連携した取組」の再掲)</li> </ul> </li> <li>③ 環境の保全につながる事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「奈良ばい谷戸」において、田植えや稲刈り体験、さつま芋掘りやタケノコ掘りなど季節ごとの体験イベントや里山の散策イベントなどを実施しました。</li> <li>・小野路エリアで活動する市民団体において、幼竹を活用したメンマづくりや竹灯籠づくり、流しそうめん台づくりなど竹を活用したワークショップを実施しました。</li> </ul> </li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者が安全にまちだの里山を楽しむことができる環境を整えます。</li> <li>・引き続き、地域住民や団体、企業と連携した取組を実施するとともに、必要な支援を行います。</li> </ul>	
相原エリア	1 連携・協働の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域の課題解決や里山の活用につながる体制づくりに取り組みます</li> <li>② 地域で活動する若い世代との連携・協働のしくみづくりに取り組みます</li> </ul>	調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度から新たに相原エリアの公共施設指定管理者となった団体および施設周辺の山林を所有する法人へのヒアリングを実施しました。東京都が保有する大戸緑地を含めた今後の連携について意見交換を行いました。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、相原エリアにおける、里山環境の活用につながる体制作りに向け、指定管理者などとの意見交換を実施します。</li> </ul>	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の指定管理者やエリア内の法人や団体において、里山環境や資源を活用した取組が行われましたが、各団体をつなげるには至りませんでした。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体との意見交換を継続し、必要に応じた支援を行います。</li> </ul>	
	2 多様な主体の連携による里山活用の推進	—	調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度に引き続き、相原エリアの権現谷戸において、地域の団体に林野庁の交付金を活用支援を行い、竹林等の整備を行いました。</li> <li>・相原エリアの山林を所有する一般財団法人において、境川源流への散策通路の整備を行いました。また、地域の小学生を対象に林野体験学習を実施しました。</li> <li>・相原中央公園において、地域の小学生を対象に公園内の小枝を利用した鉛筆づくりや公園周辺の里山に自生する植物の観察などを行うイベントを実施しました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の指定管理者や団体、大学などが行う事業が継続できるよう必要な支援を行います。</li> </ul>	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用し、協議会に参加する都府県自治体の住民を対象とした現場体験事業の実施に向け、相原エリアの指定管理者と協議しました。(重点事業1「多様な主体との連携・協働による里山資源の活用」の再掲)</li> <li>・相原エリアにおいて、山林を所有する一般財団法人が境川源流周辺のハイキングコースを整備しました。(重点事業1「山林や竹林の再生・整備」の再掲)</li> <li>・また、地域の小学生を対象に林野体験学習を実施しました。</li> <li>・相原中央公園において、ノルディックウォークのイベントを実施し、地域の歴史に触れ里山を散策する機会をつくりました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年に指定管理者と協働して、「多摩の森活性化プロジェクト推進協議会」の枠組みを活用した現場体験事業を実施します。</li> <li>・公共施設の指定管理者や団体、大学などが行う事業が継続できるよう必要な支援を行います。</li> </ul>	
三輪エリア	1 地域の取組や魅力・価値を共有できる関係づくり	—	調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴川地区協議会と連携し、地域のみどり(里山)を知り、活動への参画につなげることを目的とした「鶴川里山勉強会」を実施しました。(重点事業2「地域・団体等と連携した取組」の再掲)</li> <li>・三輪エリアに所在する学校法人が所有する山林資源の活用について、事業者とともにヒアリングおよび現地を確認を行いました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域や学校法人などと連携し、三輪エリアの里山を知る機会を提供します。</li> </ul>	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三輪エリアで活動するホームタウンチームと小野路エリアで活動する市民団体協働して、放置竹林の課題解決に向けた取組を実施しました。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、三輪エリアにおける取組を支援します。</li> </ul>	